

平成30年度 楠見西小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長 庄禮 浩志

作成日 平成30年4月1日

別紙1-2

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 明るく楽しく通える学校
- 人権意識の高い子供
- 地域に誇りを持ってほしい

【学 校 教 育 目 標】

豊かな心と実践力のある子供の育成

【めざす児童（生徒）像】

- ・深く考える子
- ・感動できる子
- ・たくましい子

前年度の学校評価

- 授業改善が進んでいる
- 挨拶ができるようになってきた
- 情報発信が不十分である

児童の実態

- 元気よく挨拶ができる
- 学年を超えて仲が良い
- 家庭学習の定着がまだ不十分である

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎授業改善の推進
- 家庭学習のさらなる定着
- 読書活動の推進

具体的な取組

- 学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る
- 週4日の「西タイム」の時間で全体の基礎学力の向上をはかる
- 放課後の「のびのびタイム」で授業に遅れがちな児童の補充学習を行う
- 発達段階に応じた家庭学習の手引きを作成し、活用するとともに「くすのきノート」を使って自主的に実践させる
- 朝の読書タイム、読み聞かせ、家庭読書親子読書を推進する

指標

- 県学習到達度調査で基本問題の正答率が5年国語以外は県平均を上回る
- わかる授業、児童主体の授業を実践した(教師90%)

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 全校児童一体の仲間づくり

- 「みんなの道徳」「心のとびら」「希望へのかけはし」を活用し、特別の教科道徳の授業で豊かな心の育成につなげる。
- 「いじめアンケート」を年間に数回実施し、いじめの未然防止早期発見・対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について保護者とともに学ぶ機会をもつ
- 児童会での縦割り班活動、学級活動等で関わりを増やす
- 不登校児童に積極的にかかわり、解消に努める

- 学校が楽しい(児童90%)
- いじめの解消率(100%)

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

- スポーツテストの結果を活用し体力の向上を図る
- クラブ活動に積極的に参加する
- 「西っ子メディアコントロールチャレンジ」を毎学期行い、生活習慣を見直す
- あいさつの励行、校内美化に努める
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 朝ごはんを食べた(児童95%)

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携
- ◎地域の保幼小中高の学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

- 学校だより・学年だより等を通して積極的に学校の情報を発信する
- 運動会・ありがとう集会等の学校行事、「西っ子まつり」等の育友会行事に保護者・地域の見守り隊の方々に参加を呼び掛ける
- 保幼小中の接続・連携を密にし、情報交換を積極的に行う
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する

- 学校だより・学年だより等を毎月発行する
- 学校ホームページを見直し、毎月更新する

◎：特に重点的に取り組むこと